

京都市学校歴史 博物館だより VOL.1



まもなく開館1周年 ～入館者12,000人突破～

学校歴史博物館

館長 上田 正昭

昭和60年以來、市民の方々から設置要望の声が高まり、開館が待たれていた京都市学校歴史博物館が昨年の11月11日にオープンして、間もなく1周年を迎えます。

全国に先駆けて、明治2年に64校の学区制小学校(番組小学校)を創設し、日本の近代学校教育の魁をなした京都の教育の歴史、そして学校の創設・経営に尽くされた町衆の情熱と伝統を現在に伝え、後世に引き継いでいくため、この博物館が設置されました。

この博物館には、京都市立の小学校・幼稚園等に卒業生の芸術家などから寄贈された美術工芸品(学校文化財)を多数所蔵しています。これらは、京都の伝統産業や地場産業の人材育成のため、かつて京都の学校が独自に取り組んできた芸術教育の遺産であるとともに、地域の方々对学校に対する愛着の顕れでもあり、全国に例のない、京都市の学校の特長を示す博物館として大きな存在意義があると確信しております。

江戸時代の京都の市中には自治組織としての町組が出来上がっており、『町人による、町人のための、町人の学問』が行われており、その礎があったからこそ、東京遷都後の京都の活性化策としての小学校建営の大事業もできたと言えます。明治初年の、町衆を中心にした地域の人々の「教育こそ人づくり」という考えは、現代にも受け継いで活かすべき見識です。

開館以來、既に12,000人を超える観覧者は、市民

の方はもとよりのこと、全国各地からお越しいただき、外国の方々も訪問されています。観覧の方々から、京都の学校創設の歴史がよく分かった、素晴らしい芸術作品は京都ならではの感想が多数寄せられています。

今後なお一層、展示と事業の充実と発展を図っていきたくと念願しています。

記念品の贈呈 ～入館1万人目の大学生に～

予想を上回る観覧者を迎え、本年6月29日に1万人目の入館者を迎えました。

記念する1万人目の幸運を手にした方は京都女子大学の学生さんで、上田正昭館長のサイン入り自著や、博物館を紹介した本と花束を館長から贈られ、「博物館実習の下見に友だちと見学に来てこの幸運、光栄です。」と感激。興味深そうに展示品を観賞していました。



サマー・イブニング・コンサート

～明治の風琴の音色と懐かしい唱歌を楽しむ～

当博物館の所蔵する歴史資料として音楽教育に使われた数多くのオルガンがあります。その中の、明治時代の燭台の付いた細工を凝らした立派なオルガンは、元日影幼稚園所蔵の燭台付風琴です。京都市の学校・園に残っているオルガンは他にもありますが、燭台の付いているオルガンはこれ一つだけです。このオルガンは、開館の時から展示していましたが、故障していたため、今回、このオルガンを修理し、その修理を記念して、多くの方に今はほとんど残っていない明治のオルガンの音色を楽しんでいただくため、ミニ・コンサートを開催いたしました。

8月27日は今にも雨が降りそうな天気でしたが、なんとか予定通り屋外で開催できました。第一部の春日野小学校の子供らしい歌声に続き、第二部では、石田孝子先生のオルガンのソロによる年代順による唱歌の演奏、そして第三部として女性合唱団ラ・コール・デュ・ボア・ジョリによる「ふるさとの四季」がエンディングを飾りました。当日は260人ものお客様に来て

いただきましたが、一緒に口ずさむ姿が多く見られるなど、過ぎ行く夏の一時を、懐かしい唱歌で楽しんでいただきました。

来年も、学校歴史博物館の夏の風物誌となる事業として皆様に楽しんでいただけるよう企画して実施する予定です。



◀石田孝子先生のオルガンのソロ演奏



▼春日野小学校の生徒による合唱

開館1周年記念・秋の特別展

「日本のこころとすがた」

国際高齢者年を記念して、70歳以上の方を無料ご招待

9月9日（木）から11月16日（火）まで、開館1周年記念・秋の特別展「日本のこころとすがた」を開催しており、連日、多くのお客様でにぎわっています。特に、今回の特別展では、2階に特別展示室を設置し、通常より多くの美術品を展示しています。

今年は、国際連合が定めた国際高齢者年です。京都市においても、樹本市長を先頭に、高齢者に対する施策を積極的に展開していますが、当博物館でも、国際高齢者年記念企画として、開館1周年の前1ヶ月間に該当する10月12日（火）から11月11日（木）までの期間については、

70歳以上の市民の方々を無料招待します。高齢者の方々が子供の頃に、何気なく見ていた絵画などに会えるかもしれません。また、お孫さんと一緒にご来館いただき、「学校」という共通の話題でふれあいを深めていただきたいと思います。

※入場の際に、受付にて市バス・地下鉄の乗車証をご提示いただきますようお願いいたします。



「富嶽瑞雪」木島桜谷作

ヴェトナムの教育関係者を迎えて ヴェトナムにも作りたい こういう教育博物館を

文部省学術国際局が招致されたヴェトナムの教育行政関係専門家が学校歴史博物館を3月20日、訪問視察されました。

ヴェトナムのホーチミン市人民委員会文化情報局長のレ・ホン・リエム氏とホーチミン市国家大学傘下社会科学人文大学副学長のゲン・バン・タイ氏のお二人です。

上田正昭館長から訪問を歓迎する挨拶の後、上田館長と清水事務局長から博物館の設置主旨や経緯、機能、事業などを詳しく説明し、展示室を案内しました。

お二人は、教育に携わっておられる方だけに、130年も前に64もの学校を創設した京都の町の人々の教育に対する熱意と行動に大変心打たれた様子で、かつ、江戸時代の寺子屋の教科書を初めとする様々な資料が保管・展示されていることにも驚いておられました。

ヴェトナムは、フランスの植民地時代、第二次世



前列 上田館長をはさんで レ・ホン・リエム文化情報局長（左）
ゲン・バン・タイ副学長（右）

界大戦後の南北ヴェトナムに分かれていた時代、さらに激しいヴェトナム戦争と長い苦難の時代を経てきたため、大切な教育資料も多くが戦火に焼かれました。それだけに将来的には、この博物館を参考にして、ヴェトナムの学校歴史、教育歴史に関する博物館を是非とも作りたいと、力強い口調で述べられました。

この博物館は、常々、上田館長がアジアの人達にも見ていただきたいと望んでおられるだけに、ヴェトナムの教育行政関係専門家の方々の訪問は、有意義なものであったと確信いたしました。

その他にも

ハーバード大学研究員・女性の方は、昨年まで京都大学に研究員として留学し、「福沢諭吉」の研究に従事され、日本語は堪能で明治初期の小学校設立についても、「京都学校記」等からよく知っておられるようでした。博物館研究員からは、当「学校歴史博物館」の設立の趣旨について詳しく説明をしました。

教科書コーナーに展示されてあった福沢諭吉の著書

「世界国盡」や「西洋事情」については、大いに興味を示され、また研究のために来館したい！と思いを残して帰られました。

さらに、オランダや中国からも教育研究者が見学に来られたり、留学生の方が観覧に来られるなど、外国人の方々にも好評をいただいています。

ボランティア 市民学芸員の声

出会いとふれあいの中で

何の知識もない私が、素晴らしい「学校歴史博物館」に関わり、下京区で生まれ、中京区で育ち番組小学校で学んできた私にとっては、なつかしい思い出のある展示品との再会に感動し、よくも無事で…といとおしさを感ずる。

多くの来館者の方との出会い、ふれあいの中、一枚のパネルを通して一緒にコミュニケーションをはかり、古き良き時代に話が弾み、歴史ある展示品の奥の深さを知ると共に、展示品の入れ替えの時は、次の出会いを求めてワクワクする時間を与えていただきます。（西田文子）

歴史と文化の重みを感じて

平成3年から学校歴史資料の実態調査が行われた時、お手伝いした縁から、この博物館が開館して以来、市民学芸員として協力させていただいています。

小さな博物館ですが、意義深い資料が多く、1200年の歴史と文化のおもみを感じながらのボランティア活動です。説明のしやすいコーナーでは得意になって解説しますが、難しい質問に合うと困ることもあり、勉強不足を感じます。先日、中国雲南省の或る博物館（ポーランホイ）を訪れ、その盛況ぶりに驚きました。市民の新たなニーズに応えられる博物館となるよう発展を願うとともに、個人としても支援を続けていきたい。（田口教夫）

来館者の感想から

★二宮金次郎像は私の学校にはないので感動した。教科書も今とは全然違い、私の習っていないことがたくさん書いてあった。

昔のものがいろいろあって良い勉強になりました。(10歳代女・市内)

★来て良かった。番組小学校のことを詳しく知りたかったので本当に感動した。番組小学校変遷の表は、自分で作ろうと試みたことがあったのですが、出来なかったものです。私の学校も閉校してしまいましたが、こうして愛校心を保てる施設になった開智小は素晴らしいと思った。またぜひ来たいと思います。(20歳代女・市内)

★連休に帰省したので寄ってみた。母校がこのようになったのは寂しいが、今後様々な形で市民に親しまれるなら、これ程素晴らしいことはない。内容は、大変興味のあるものだが、京都の学校の歴史を語るには、資料の数を考えると、展示室が少し小さいのでは…今後期待します。(20歳代男・他府県)

★祖父母や伯父が教師で、昔の学校の事は聞いていたがイメージと違った。貴重な資料を見せていただき、今の子供たちが、学校設備の点でどれだけ恵まれた環境で学べるか、

今でも外国では、学校にいけない子供たちがたくさんいる。読み書き出来る事がどれだけ幸せな事か。昔の学校を知るだけでなく、教育についても考えさせられた。(30歳代女・他府県)

★教育の大切さ、人を育成することへの情熱、そのためには何から始め、どう進めるのか。そんな昔の方々の苦勞と知恵を感じた。後世に伝えたい。(40歳代男・市内)

★京都の教育の歴史と自治の精神を実感出来た。京都で教育を受けたことを誇りに思う。(40歳代男・他府県)

★大変勉強になった。展示物の説明が丁寧。欲を言えば学校全体が昔のままに残っていれば……京都の学校で教育を受けたので懐かしい。京都ならではの博物館を。(50歳代女・市内)

★京都の学校の歴史について特に町衆により興されたことに敬服した。種々の資料・作品の収集等についての苦勞が伺い知れた。新しいものも順次展示されるとのこと、改めて拝見したい。立派なもの大切に保存され多くの方がご覧になることを望みます。(60歳代男・他府県)

お知らせ

インターネット・ギャラリーの開設 (11月1日スタート)

<http://www.gakurehaku-UNET.OCN.NE.JP/>にアクセスを!!

ここ数年のインターネットの普及は目を見張るばかりですが、京都市では、様々な分野において、情報発信を実施しています。当博物館においても、展示できる作品に限られることから多くの作品を見ていただけるよう、インターネット・ギャラリーの開設準備を進めてきました。

このたび、かわいいう Mascot ・キャラクター「金次郎くん」が博物館の紹介を行なう、ホームページを開設します。

メニューは、「学校文化財」の中から選りすぐりの作品を見ていただく、学校文化財インターネット・ギャラリーを中心に、子供たちにもわかりやすく学校の歴史を学べる「金次郎くんの宝物」、また、当館の事業の案内や今後の催し物等についても広報していきます。

なお、当館のホームページは自治省の実施している全国の博物館をネットワーク化する事業の一環として位置付けられています。

また、将来的にはメールを利用して皆様からの質問を受け付けたり、夏休みの宿題相談なども行いたいと考えています。一人でも多くの方のアクセスをお待ちしています。

今後の催し物

9月9日～11月16日	開館1周年記念・秋の特別展 「日本のこころとすがた」
10月10日	臨時休館
10月11日	臨時休館
10月12日～11月11日	高齢者無料招待
10月13日	臨時開館
11月17日～	企画展示 (内容未定)
12月上旬	開館1周年記念事業 (教育シンポジウム)